

アンケート結果を踏まえた話し合い内容及び改善策について

【保護者向けアンケート】

■項目①「子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか」について

・回答 はい：9 どちらともいえない：1 回答なし：1

・ご意見：自由に動けるスペースが少ないように感じる。

・改善策

4月より発達段階及び年齢、医療的なケアの必要度に応じたグループ分けをし、グループごとに活動する場所（居室）を設けた。これにより、混雑感が軽減しグループでの活動と全体での活動を織り交ぜながらメリハリのある活動ができるようになった。

■項目③「事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか」

・回答 はい：7 どちらともいえない：4

・ご意見：悪天候時の車の乗降が大変な時がある。

入口の段差（入口の左側）に段差があるのが気になる。

・改善策

悪天候時は、できるだけ車の乗降に負担がないよう職員がお手伝いをする。

入口の段差については、左側にスロープや階段をつけることにより、車椅子の利用者（児）が通れなくなることが考えられる。できるだけ正面のスロープを活用して頂くようお願いする。左側に段差があることにより、今後、利用児に危険が伴う状況が生じると判断されることがある場合には、柵・手すり等を設置する。

■項目⑤「活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか」

・回答 はい：8 どちらともいえない：3

・ご意見：利用している曜日によるかと思うが、活動内容が何となく同じ気がするので、もっと色々な体験ができると尚良いと思う。

・改善策

5月より、活動プログラムの見直しを行い、新たに図書館・公園外出などを盛り込んだ。缶つぶし（作業）や以前行っていたボーリング・魚釣りなどの以前行っていた活動を盛り込むことにより、活動を充実させたい。また、長期休み時には、前橋総合福祉会館（水治療室）・バスや電車外出等を取り入れ、様々な社会経験が積めるようにしたい。

■項目⑨「保護者に対しての面談や育児に関する助言等の支援が行われているか」

- ・回答 はい：6 どちらともいえない：5
- ・ご意見：面談は特にはないが、支援は細かくして頂いている。
- ・改善策

面談については、一部の利用児に限り相談支援専門員によるサービス担当者会議がひらかれていないため、面談回数が十分でないと感じられるケースがあると思われる。相談支援専門員と連携を取り、サービス担当者会議が定期的に行われるよう協力をしていきたい。

■項目⑩「父母の活動支援や、保護者会等の開催により保護者同士の連携が支援されているか」

- ・回答 はい：6 どちらともいえない：5
- ・改善策

保護者会の設置の予定はないが、かりん（公益事業）において、保護者向けの茶話会や学習会を昨年度2回行った。今年度以降も定期的に行う予定である。

■項目⑭「個人情報に十分注意しているか」

- ・回答 はい：9 どちらともいえない：2
- ・改善策

みらい定例会について、再度個人情報の取り扱いにおいて注意喚起を行うとともに、具体的なケースを交えながら、気を付ける点の確認を行った。

■項目⑯「非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他の訓練が行われているか」

- ・回答 はい：8 どちらともいえない：1 回答なし：2
- ・改善策

定期的（年2回）に避難訓練及び救命救急講習を行っている。また、昨年度においては、不審者対応訓練を行った。今後も定期的に訓練を行っていくとともに、訓練の実施内容について分かりやすく、会報・ブログ等を通じて発信していくよう努めたい。

【事業者向けアンケート】

■項目④「業務改善をすすめるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか」

- ・回答 はい：3 いいえ：4
- ・改善策

みらい定例会において、PDCAサイクルについて説明を行い、これまで無意識に取り

組んでいたPDCAサイクルを意識的に行うようにした。

■項目⑤「保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務の改善につなげているか」

・回答 はい：3 どちらともいえない：3 いいえ：1

・改善策

今回、第1回目として、保護者向け及び事業者向けアンケートを行った。アンケートをもとに話し合いを行い改善策を出し合った。

■項目⑥「この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか」

・回答 はい：1 どちらともいえない：3 いいえ

・改善策

今回のアンケート及び話し合いの内容について、ホームページに公開するとともに保護者にも紙面にてお伝えする。

■項目⑦「第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか」

・回答 はい：1 どちらともいえない：3 いいえ：2

・改善策

.....

■項目⑨「ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っているか」

・回答 はい：2 どちらともいえない：5

・改善策

職員のガイドラインの総則への説明が十分でなかったことが、「どちらでもない」という回答が多かったことの要因と思われる。全職員に対してガイドラインの説明を行い、みらいでの活動がガイドラインに沿った活動であることを確認した。

■項目⑫「医療的ケアが必要な子どもを受け入れている場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか」

・回答 はい：1 どちらともいえない：4 いいえ：2

・改善策

医療的なケアを必要とする児童については、法人の協力医である中田医師（中田クリニック）の往診を受け必要な医療的ケアについての指示を仰ぐ予定とする（夏休みに実施予定）。

■項目⑳「就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか」

・回答 はい どちらともいえない：2 いいえ：2

・改善策

4月より利用開始された小学1年生の利用児については、必要に応じて就学前に利用していた児童発達支援事業所と面談や電話にて連絡をとり情報共有を行った。

■項目㉑「放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか」

・回答 どちらともいえない：2 いいえ：5

・改善策

みらいを利用されている児童の9割が重症心身障害である。怪我や事故につながらないようどういった交流ができるか探りつつ、交流に協力してくださる放課後児童クラブや児童館との関係づくりから行っていくことを視野にいれていきたい。

■項目㉒「保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してのペアレント・トレーニング等の支援を行っているか」

・回答 はい：1 どちらともいえない：3 いいえ：3

・改善策

ペアレント・トレーニングの講習会については行っていないが、かりん（公益事業）において、保護者向けの茶話会と学習会を行っている。学習会の内容については、保護者にアンケートを行い、アンケートを踏まえた上で決定している。学習会に積極的に参加をして頂くことにより、様々な不安や心配、疑問等を解消して頂けるよう役立てて頂きたい。

■項目㉓「保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか」

・回答 はい：5 どちらともいえない：2

・解決策

同上（項目㉒の解決策）

■項目㉔「父母の会の活動をしたり、保護者会等の開催をする等により、保護者同士の連携を支援しているか」

・回答 はい：5 どちらともいえない：1 いいえ：1

・解決策

同上（項目㉒の解決策）

■項目④「どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか」

・回答 はい：4 どちらともいえない：3

・解決策

現在、他害や自傷等の対応を必要とする利用児がいないため、身体拘束の必要が生じていない。重症心身障害の利用児については、バギーや車椅子・カーシート等を利用し、安全のため身体の固定を行う必要がある。その場合にはおいては、個別支援計画において、利用児や保護者の同意を得ている。

■項目⑤「食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか」

・回答 はい：2 どちらともいえない：4 いいえ：1

・解決策

現在のところ、著しく食物アレルギーのある利用児がいないため、医師の指示書を必要とする対応までは必要としていない。服用している薬との飲み合わせにより、食べてはいけないもの、食物アレルギーにより食べてはいけないものとされているものについては、アセスメント時に保護者から聞き取りを行い、職員に周知している。